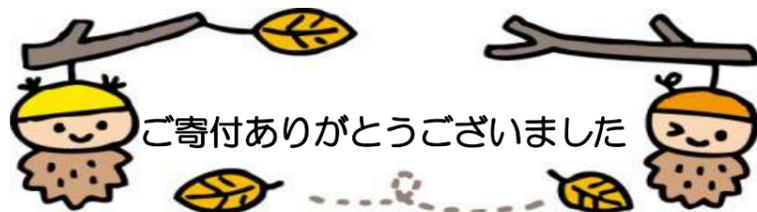


すこやかだより



ご寄付ありがとうございました

- 寄附金
- ・マツイ ケンメイ 様
 - ・加古川市 匿名希望 様
 - ・河野 浩 様
 - ・オカモト マサコ 様
 - ・タナカ マサヤス 様
 - ・石割 祥子 様
 - ・(有) アクシオン 様
 - ・原田 るり子 様



順不同

- ・(株)シヨクリュー様より 冷凍食品(エビ)
- ・山本 史月様より 紙おむつ
- ・永富 由香様より シーリングライト
- ・田中 敬子様より 紙おむつ他
- ・吉沢 ランゼ紗羅様より 紙おむつ
- ・大阪いずみ市民生活協同組合様より 絵本
- ・合同会社 協(かなつ)様より ほ乳瓶90本
- ・母子保健推進会議様より おしりふき1000パック
- ・堀家 万里子様より 粉ミルク
- ・吉田 まち子様より スタイ・トートバック
- ・加藤 純子様より スタイ
- ・今井 江里香 スタイ
- ・(株)ティーレックス様より フリーズドライ350袋
- ・カゴメ(株)様より 食べるスムージー300個
- ・(有)西村明商会様より ミトン・スタイ他300点
- ・太融寺様より 粉ミルク24缶
- ・原田 るり子様より タオル
- ・静林業(株)様より 木製キッチン・木製おもちゃ18点
- ・川北 純勝・純子様より ベビーキルト8枚



合同会社協様より90本のほ乳瓶を頂きました。



自然を、おいしく、楽しく。
KAGOME



冷たく冷やしたスムージーをお外で「おいしいね〜と頬張っていました。」



母子保健推進会議様よりたくさんおしりふきを頂きました



毎年太融寺様よりミルクをいただきます



(株)ティーレックス様よりフリーズドライ350袋頂きました。おやつに提供させて頂きます。

「40年ぶりのお客様」

「40年前にお世話になったものですが、先日このような電話が事務所にかかってきました。40年前、生後すぐに当院に預けられた方が、「自分のルーツを知りたい」と電話してこられました。」

倉庫にご本人の当時の記録が保存されていまして、そこには預けざるを得ない困難な事情とともに生みの親のお名前が残されていました。お伝えできることならお伝えしたいと考えましたが、昨今のルールのもとでは、なかなか難しいこともあるでしょう。弁護士さんに尋ねると「本人の権利として出自を知る権利があるので、原則開示の必要はあるだろう。しかし、令和3年3月26日に厚生労働省家庭局から発出された通知に、養子になった児童の美父母に関する情報である母親の氏名は、同意がある場合に情報の提供を行うべきとあり、実母が生存の可能性があり、同意が取れていないため、開示することは不適切」という見解でした。今のルールでは母親の名前や事情は母親の情報で、その子どもですら同意がなければ知ることができないということになるのです。

なんとか手がかりになることでもと思い、生まれたときの住所は本人の情報ですから、それだけはお伝えしようと思いましたが、全部準備が終わり、「ご本人にお電話をかけます。お電話口では明るい声で、記録にある里親さんのお名前を名乗られます。」

ああ、ずっとそのお名前を「自分の姓として名乗って来られたのだな」と一瞬安心し、「挨拶もそこそこ」に、残念ながらお名前はお知らせできない旨をお伝えすると



大阪乳児院

院長 昶謙

(株)シヨクリュー様よりエビやエビフライなどを頂きました。



産前産後支援の夕飯の天丼や子ども達の Pasta に添えたり、ボランティア活動のサンドイッチに使ったり美味しくいただきました。



(有)西村明商会様より可愛いスタイをたくさん頂きました。



「そうなんです、私も今の里親さんには本当に良くしてもらい、二人ともお見送りが済んで一区切りついて、自分のことを調べようと思いいろいろ調べたんです。」とおっしゃいます。お生まれになった場所もすでに「存知でした。我々の記録にはないその後の生活についても色々とお話いただきました。その中で伝わってきたのは、きっと素晴らしい里親さんのもと、ちゃんと告知を受けて幸せに40年間を過ごして来られたということなんです。」

子どもにとって出自を知る権利は大切な権利です。今後特養を希望される親御さんには20年、40年先を見越して、子どもさんに親の情報を伝えても良いという同意を取って残しておく必要があります。ただそれ以上に里親さんに恵まれて、自分の存在そのものが世界に受け入れられているという実感を持つことも「これ」を育んでいくことが子どもの最善の権利の尊重なのだと思つた出来事でした。

大阪乳児院基本理念

- ・子どもの最善の利益を守ります
- ・社会的養護の立場から、地域社会と協力して、子どもとご家族を支援します
- ・子どもを一人の人格として尊重し、その権利を守ります



一過ごしやすい季節になってきましたね
秋の行事での子どもたちの姿をお届けします

おつきみ



お月見の日には農作物へ感謝し、うさぎのおまんじゅうやお月様の形をしたカレーライスを食べました。これからもおいしいご飯いっぱい食べようね♪



うんどうかい



プログラム

＜午前の部＞

- ・体操「エビカニックス」
- ・ひよこ・うさぎ競技

「かんかんかん赤ちゃん列車通ります」

- ・りす・こぐま競技

「～トンネルくぐりぬける～小さなおむし大行進」
「～力を合わせて完成させよう～りすこぐまバス出発」

＜午後の部＞

- ・ぞう・きりん競技

「おむすびころりんすっとんとん」
「いちごさんがね～渡ってくぐってずんずんずん～」

- ・縦割り競技

「仲良く一緒にだるまさんがコロコロパッ」

お昼ごはんには調乳さん手作りのお弁当をバルコニーでみんなでたべました♪



エプロンとバンダナを巻いてみんなでクッキー作りに挑戦しました☆

いろんなキャラクターに大変身☆
仮装をしてお菓子を貰いに行きました！
みんなとてもかわいい♡

Trick or Treat
おかしくなくちゃ
イタズラしちゃうぞ！

ハロウィン



今年の運動会は“だるまさん”や“おべんとうバス”など子ども達の大好きな絵本の世界に入って、競技に参加しました。
可愛い衣装を着て元気いっぱい頑張ってくれました♪



収穫して食べちゃおう～

6月初めに植えた稲は「どうぞ刈り取ってください」というように茶色に色づき稲穂を垂れました。僅かな収穫でしたが子ども達は大喜び。何の匂い？これが藁の匂いだよ



玄米
さあごうこよう



苗を頂いた整肢学院の長谷川さんが稲刈りに来て下さいました。



今年は少ししか出来なかったけど良い体験ができました。



取ったぞ～

さつまいもにすごいことがおきました

サツマイモの端っこを水についたら「あれよあれよ」と葉っぱが出てきました。プランターへ植え替えたら「なんとなんと」小さなさつまいもが出来ていました。



うんとこしょ！どっこいしょ！さつまいもだ～



給食さんお願いします



やきいもだ～



ゴシゴシ洗おう



ほくほくだ

福島ひまわり里親プロジェクト



これがひまわりの種？



小さな手にしっかりと



収穫した種にお手紙を添えてお返ししました。郵便屋さんちゃんと届けてね

福島ひまわり里親PJに参加しました。小さいけれど可愛いお花が咲きました。この種を植えたらまたお花が咲くんだよとお話するとへえ～って。実体験は良いですね



扉をあけたらこんな素敵な贈り物がとどきました。



今年も静林業様より木の椅子やキッチンセット等をたくさん頂きました。木ならではの温もりを子ども達は肌で感じる事ができます。



川北ご夫妻さまからの愛情たっぷりのパッチワーク。一針一針に込められた温かいお気持ちが伝わってきます。大切に使用させていただきます。

編集後記

今年も残すところ1ヶ月あまりとなりました。コロナ禍で皆さん大変な1年だったと思います。このようなご時世の中でもたくさんの方々にご支援を頂くことが出来たこと深く感謝いたします。